

## II 2022年度 事業報告書

### 1. 2022年度研究助成などに関する事項

1) 研究者助成：わが国における口腔衛生の進展を期し、小児歯科学、口腔衛生学の研究者への助成をする。特に将来とも情熱を持ってこの分野で活躍しようとする若手層の研究者への研究費の補助としての助成である。

#### A：小児歯科学部門（支給件数：8件 応募件数：17件 助成金額：1件30万円）

	氏名	年齢	所属	研究テーマ	推薦者
1	イワタ ココロ 岩田 こころ	30	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科・障害者歯科学分野 医員	歯胚特異的に発現するvon Willebrand factor D and EGF domain(Wvde)遺伝子の歯胚発育過程における役割解明	岩本 勉
2	スエヒロ ヌウト 末廣 雄登	29	大阪大学大学院歯科学研究科 大学院生(4年次)	死菌処理した <i>Streptococcus mutans</i> の感染性心膜炎に対する病原性の評価	仲野 和彦
3	アサウミ ハルカ 浅海 春華	31	岡山大学病院小児歯科学分野 医員	<i>Streptococcus mutans</i> のバイオフィーム形成に関連する新たな病原タンパクの解析	仲野 道代
4	チョウ ケイミ 趙 継美	27	北海道大学大学院歯学院口腔機能講座 小児・障害者歯科学教室 大学院生(3年次)	小児がんに対する抗GD2抗体を用いた光免疫療法に関する研究	八若 保孝
5	アキトモ タツヤ 秋友 達哉	30	広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学 助教	天然由来成分Hydroxy- $\alpha$ -Sanshoolの有する齲蝕抑制効果の解明	野村 良太
6	ヨシヤス ケイト 吉安 慧人	32	朝日大学医科歯科医療センター小児歯科学分野 ポストドクター	S-PRGファイラー含有ペースト及びびマウスガードによる初期齲蝕病変の再石灰化のメカニズムの解明	齊藤 一誠
7	カナモリ ダイ 金森 大	32	明海大学歯学部形態機能育成学講座 口腔小児科学分野 大学院生(2年次)	小児歯科ユニット排水からのSARS-CoV-2検出の検討2	星野 倫範
8	カワサキ トモコ 川崎 朋子	34	鶴見大学歯学部小児歯科学講座 臨床助手	乳歯列期における上唇小帯の形態と付着位置の経時的変化に関する研究	朝田 芳信

#### B：口腔衛生学部門（支給件数：8件 応募件数：22件 助成金額：1件30万円）

	氏名	年齢	所属	研究テーマ	推薦者
1	サトウ ユキヒロ 佐藤 遊洋	33	旭川医科大学社会医学講座公衆衛生学・疫学分野 助教	2006年から2021年における歯科材料費が全歯科医療費に占める割合を明らかにする研究	西條 泰明
2	クギミヤ ヨシヒロ 釘宮 嘉浩	32	国立長寿医療センター歯科口腔外科部 歯科口腔外科医師	基本チェックリストと後期高齢者の質問票で抽出された咀嚼機能低下有訴者の特性の比較	平野 浩彦
3	イワサキ ミユ 岩崎 美友	30	東京歯科大学衛生学講座 大学院生(2年次)	バイオアパタイト歯面塗布法による象牙質耐酸性強化法の検討	杉原 直樹
4	ナカジマ ユキコ 中島 幸子	31	昭和大学歯科病院高齢者歯科学講座 助教	高齢者の口腔機能低下症に対する継続的な口腔機能管理の効果	佐藤 裕二
5	オオタケ トモナ 大竹 知菜	28	東北大学大学院歯学研究科頭蓋顔面先天性異常分野 大学院生(博士課程3年次)	口腔細菌による亜硝酸産生能は、どのような条件下で効果的に行われるか？ -口腔環境因子に着目して-	高橋 信博
6	イトウ カナデ 伊藤 奏	35	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 健康支援口腔保健衛生学分野 助教	毛の先端形態が異なる歯ブラシの清掃性評価および使用感覚に対する感性評価	樺沢 勇司
7	オオクボ ヒカル 大久保 光	26	新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座 予防歯科学分野 大学院生(2年次)	製造業事業所就業者のかかりつけ歯科医院の有無と現在歯数の関連	小川 祐司
8	スズキ イタル 鈴木 到	32	日本大学松戸歯学部 助教	<i>Streptococcus mutans</i> 産生メンブランベシクルが初期付着菌群の初について期付着・凝集に与える影響	有川 量崇

2) 海外留学研究者助成：海外からの日本への留学研究者で、在日6カ月以上を経過し留学期間1年以上で小児歯科学、口腔衛生学・予防歯科学の他、矯正歯科学、歯周病学の研究に従事する研究者への研究費の補助として助成する。

（支給件数：4件 応募件数：7件 助成金額：1件30万円）

	氏名	年齢	所属	研究テーマ	推薦者
1	アッパス ハゼム Addas Hazem	33	東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 大学院生(博士課程3年次)	Number of teeth and social isolation : Mediation of the dental prosthesis use and psychological factors	竹内 研時
2	ティン ザー トウン TINZAR TUN	34	新潟大学大学院歯学総合研究科予防歯科学分野 大学院生(2年次)	Masticatory function and depressive symptoms in Japanese older adults with regular dental checkups	小川 祐司
3	MA JIALE 馬 佳楽	24	九州大学大学院歯学研究科口腔保健推進学講座 口腔予防医学分野 大学院生(4年次)	歯周病の重症度を高精度に評価する唾液細菌検査法の開発	山下 喜久
4	ゼファクチュターランシー サランヤ SERBUKCHUTARUNGSEE SARANYA	29	東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科口腔機能再構築学講座 咬合機能矯正学分野 大学院生	The effect of Material High-Fat Diet On The Taste Preference In Offspring	小野 卓史

3) 海外歯科保健医療活動助成：歯科学及び歯科衛生学を学ぶ学生・大学院生が海外での歯科保健医療活動を通じて国際的視野の育成及び交流等による経験を通して医療人としてのその後の活動に貢献する者・団体へ支援助成する。

(新型コロナウイルス感染症拡大のため応募なし)

4) 歯科衛生学及び歯科衛生教育学研究者助成：わが国における口腔衛生の進展を期し、歯科衛生学及び歯科衛生教育学業務の向上につながる研究を助成し、もって社会の福祉に寄与することを目的とし、研究者に研究費の補助として助成する。

A：歯科衛生学部門（支給件数：8件 応募件数：26件 助成金額：1件 20万円）

	氏名	年齢	所属	研究テーマ	推薦者
1	トクイ フミ 徳井 文	31	広島大学病院診療支援部 歯科部門 歯科衛生士	介助磨き時における介助者への血液や唾液汚染の危険性	岡田 芳幸
2	ハヤシ サクラ 林 桜	26	東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 歯周病学分野 大学院生（3年次）	LED光線の歯周病原細菌および歯肉線維芽細胞への効果	青木 章
3	アリミズ チカ 有水 智香	39	九州大学大学院歯学総合歯科学講座 歯科衛生士（社会人大学院生）	次世代シーケンサーを用いたせん妄発症に関連する 口腔内細菌叢の解明	和田 尚久
4	エグチ タカコ 江口 貴子	36	東京歯科大学短期大学 講師	植物性素材と野菜、果物による歯の色調および表面性状 への影響について	鳥山 佳則
5	テラノ クララ 寺野 くらら	27	鹿児島大学大学院歯学総合研究科発生発達成育学講座 予防歯科学分野 大学院生（修士課程2年次）	心臓弁膜症手術患者における口腔環境と術後全身状態 の関連について	於保 孝彦
6	オオツボ マキコ 大坪 牧子	35	京都府立医科大学付属病院 歯科 歯科技師	口腔・中咽頭がん放射線治療における口腔カンジダ症に配慮した 新たな周術期等口腔機能管理の最適化	金村 成智
7	オキタ カエデ 沖田 楓	25	九州歯科大学大学院歯学研究科口腔健康学分野 大学院生（博士課程2年次）	マクロファージに浸食された歯周病原細菌Persisterの 生理的動態解明	有吉 渉
8	ホンダ ヒロミ 本田 尚郁	35	九州歯科大学歯学部口腔保健学科 助教	唾液中細菌数を指標とした心臓疾患外科手術を受ける乳幼児 に対する口腔ケア方法の検討	中道 敦子

B：歯科衛生教育学部門（支給件数：1件 応募件数：1件 助成金額：1件 20万円）

	氏名	年齢	所属	研究テーマ	推薦者
1	キタムラ ユイ 北村 優衣	23	愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 助手	歯科衛生士の勤務状況と必要性が拡大している歯科衛生士業務 に対する意識の関連	犬飼 順子

海外歯科保健医療活動への応募がなかったことから、当該助成金を他部門に転用することについて、理事会（書面決議）での承認を得た後、選考委員会で協議し、応募状況を考慮し、上記の通り、歯科衛生学部門 8件、歯科衛生教育学部門 1件の助成とした。

5) 学会奨励助成：一般財団法人日本小児歯科学会及び一般財団法人日本口腔衛生学会の運営の一助として助成する。

・一般財団法人日本小児歯科学会及び一般財団法人日本口腔衛生学会に各 10万円を助成

## 2. 研究報告書の発行に関する事項

2022年度の研究助成支給者の研究報告書を作成し関係者に配布（2023年8月発行予定）。

## 3. 書籍の発行に関する事項

当財団は50年超にわたり、歯学研究者を目指す若者に研究助成を行ってまいりました。歯学研究の分野で最先端の研究に従事し、それぞれの分野をリードしている先生方も、若い時に様々な思いで歯学研究に取り組み、研究者としての道を切り拓いて来たものと思います。これらの経験を知ることは、若い研究者に大いに参考になるものと考え、先達から手研究者に向けたメッセージを頂戴し、2023年3月に「人生100年時代における歯学研究の役割と可能性～若手歯学研究者へのエール～」と題した書籍を発行しました。

## 4. 会議に関する事項

### 1) 理事会

#### ① 第34回理事会（web会議）開催

日時：2022年5月16日（月）

議題：

第1号議案 「2021年度事業報告及び決算報告」の承認の件

第2号議案 「富徳会フォローアップ助成実施の承認」の件

第3号議案 「理事の辞任に伴う選任候補」の件

第4号議案 「第12回評議員会開催」の件

報告事項：

「2022年度研究助成の応募状況」について報告

#### ② 第35回理事会（書面決議）開催

日時：2022年7月22日（水）

議題：

第1号議案 「2022年度事業計画（研究助成）の一部変更の承認」の件

#### ③ 第36回理事会（書面決議）開催

日時：2022年8月18日（木）

議題：

第1号議案 「選考委員会にて選任された研究助成者」の承認の件

#### ④ 第37回理事会開催（web会議）開催

日時：2023年3月7日（火）

議題：

第1号議案 「2022年度事業計画及び事業予算」の承認の件

第2号議案 「任期満了に伴う選考委員選任」の件

第3号議案 「個人情報保護方針並びに個人情報等取扱規程の制定」の件

第4号議案 「主たる事務所の住所変更に伴う定款改定」の件

第5号議案 「第13回評議員会（書面決議）開催」の件

報告事項：

1. 「代表理事、常務理事の職務状況」の報告
2. 「記念書籍の発行」について
3. 「フォローアップ助成事業検討の進捗」について

## 2) 評議員会

第12回評議員会（web会議）開催

日 時：2022年6月9日（水）

議 題：

- 第1号議案 「2021年度事業報告及び決算報告」の承認の件
- 第2号議案 「富徳会フォローアップ助成実施の承認」の件
- 第3号議案 「理事の辞任に伴う理事選任」の件

報告事項：

1. 「2022年度事業計画及び事業予算」について
2. 「2022年度研究助成の応募状況」について
3. その他「記念書籍の発行」について

第13回評議員会（書面決議）

日 時：2023年3月17日

議 題：

- 第1号議案「主たる事務所の住所変更に伴う定款第2条変更」の件

## 3) 選考委員会

2022年度選考委員会（web会議）開催

日 時：2022年7月25日（月）

新型コロナウイルス感染防止のため、web会議で開催。出席した選考委員が口腔衛生部門、小児歯科学部門及び歯科衛生学・歯科衛生教育学部門に分かれ、事前に各選考委員が申請書類を基に採点した採点表を参考とし、部門ごとの順位付けを行った。

その後、選考委員全員で議論し、慎重かつ公平に応募者の中から研究助成候補者を選定した。各研究助成金の支給者は前述の事業報告書に記載の通りである。